

COVID-19 感染予防対策として、

NIRS 計測に関する注意喚起

(日本光脳機能イメージング学会からの提言)

2020年6月23日

COVID-19 感染対策として、飛沫感染、接触感染を避けるために、①換気の悪い密閉空間、②多数が集まる密集場所、③間近で会話や発声をする密接場面、といういわゆる「3つの密を避ける。」ことが2020年3月厚生労働省から注意喚起されています。NIRS 計測は、計測場所の環境が①に、計測者と被験者がプローブ着脱時に比較的長時間近接する点が③に該当すると判断されます。以下の3点にご注意ください。

1) 計測の必要性

各施設及び地域の感染に関する状況を踏まえて、現時点での各被験者の NIRS 計測の適応を十分にご検討ください。

2) 計測機器とプローブの取り扱い

被検者及び計測者の感染の危険を避けるために、計測者がプローブを装着する時には手袋を着用してください。複数の測定がある場合は、被検者ごとに交換してください。また、プローブホルダは毎回清掃、消毒してください(70%消毒用エタノール、0.02%次亜塩素酸ナトリウムなどを使用)。計測機器周辺には不要な物品を設置しないでください。計測機器の清掃、消毒をするときは各機器の取り扱い説明等を確認ください。

3) 計測室内の環境

計測室は換気を定期的(最低30分に1回)、数分間程度、窓全開で行ってください。また、各計測の前後には、ドアノブ、手すり、椅子、反応キーなど、被験者が接触する場所を定期的に清拭・消毒してください(個々の環境や計測内容に応じて、個別の対策を検討ください)。被検者はマスク、計測者はマスクとフェイスシールドを着用してください(課題実施時には、間近で会話や発声をする密接場面に近くなり、咳を誘発すれば、さらにその可能性が高まりますので、感染防御と感染飛沫の対応をしてください)。